

平成 30 年 4 月

会員各位

大阪府臨床心理士会会長 加藤 敬

大阪府臨床心理士会第 26 回総会・研修会のご案内

大阪府臨床心理士会第 26 回総会・研修会を下記の通り開催いたします。ご多忙の時期とは存じますが、皆様のご参加をお待ち申し上げております。

午前中の全体会では、村木真紀先生（NPO 法人虹色ダイバーシティ）をお迎えし、「LGBT の理解と支援」をテーマにご講演いただきます。フロアの皆様とご一緒に理解を深めることができると考えております。また、午後は 7 つの分科会を開催します。会員の皆様には、積極的にご参加いただければと願っております。

1. 日時：平成 30 年 6 月 17 日（日） 9：30 ～ 17：00 [受付は 9：00 より開始します]

2. 場所：大阪府立国際会議場 グランキューブ大阪 [会場案内図参照]
〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51

3. スケジュール

9：00 ～ 9：30 受付開始（場所：10 階）
9：30 ～ 9：35 会長挨拶
9：35 ～ 11：35 全体会：講演
11：35 ～ 11：40 事務局からのお知らせ
11：40 ～ 12：45 昼食・休憩（書籍販売があります）
12：45 ～ 13：45 総会
13：45 ～ 14：00 休憩・分科会会場へ移動（会場は当日ご確認ください）
14：00 ～ 17：00 分科会
17：30 ～ 19：30 交流会（大阪国際会議場 5 階 “まいどおおきに食堂”）
※詳細についてはチラシをご覧ください。

4. 研修内容

◇◆◇ 全体会 ◇◆◇

「LGBT の理解と支援」

LGBT（レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー）は、近年その施策に取り組む企業や自治体が増加する一方、差別的発言は未だ約 60%との結果が出ています。家族の理解がなく被虐待の対象になる当事者や学校での当事者へのいじめや孤立化、またうつ病発症等、LGBT は臨床心理士の働く領域全般に関わる重要なテーマの 1 つです。本研修では前半に NPO 法人虹色ダイバーシティの村木真紀理事長を講師として、LGBT の基礎知識、当事者への関わり方、そして臨床心理士としての心構えをお話頂きます。後半はトランスジェンダー当事者である伊東カナトさんと土肥いつきさんを交えたトークセッションから当事者としてのご経験を伺い今後の臨床活動に役立てることを目的とします。

企 画：研修委員会

講 師：村木 真紀（NPO 法人虹色ダイバーシティ）

話題提供：伊東 カナト（NPO 法人虹色ダイバーシティ）

話題提供：土肥 いつき（京都府立高校教員 トランスジェンダー生徒交流会）

司 会：桧谷 真美（司法心理研究所）

◆◆◆ 分科会 ◆◆◆

《A分科会》 新人だから知っておいて欲しいことが盛りだくさんのワークショップ

「こんな大学院で習ってへん！」と現場に出て驚かれた経験はありませんか？臨床心理士として社会に貢献していくにあたり、現場に出てから初めて気づく心構えや注意点はたくさんあります。本研修は、当会の仕組み、社会人マナー、倫理など、経験の浅い今だからこそ知っておいて欲しい内容をぎゅっと凝縮したワークショップです。どの領域にも共通した基本的で大切な視点を伝えていきます。この研修を受けた翌日から、援助者として、あるいは社会人として新たな働き方ができるかもしれません。資格取得後3年以内の方々のご参加をお待ちしています。

企 画：理事会
講 師：加藤 敬（当会会長）
講 師：川端 康雄（当会副会長）
講 師：坊 隆史（当会常任理事）

《B分科会》 児童虐待シリーズ① 乳幼児期の児童虐待防止における臨床心理士の役割

～市町村の様々な心理臨床の現場から～

乳幼児期の子どもに関する心理臨床の場では、保護者との面接や子どもの発達検査、保育所や幼稚園などの巡回相談の中で、児童虐待に関する状況を聞き取ることがあります。突然の親からの告白、施設内での虐待の発見は戸惑いも大きく、保護者との関係を考えると、通告を躊躇する思いも出てきます。一方、乳幼児期だからこそリスクが高く、人格形成の基盤となる時期でもあり、この時期の臨床心理士の役割は大きなものがあります。今回、子どもの虹情報研修センターの増沢先生に乳幼児期に関わる臨床心理士の役割をご講演頂きます。その後、市町村の現場で活躍する方々から活動報告をして頂き、臨床心理士の役割を考えたいと思います。

企 画：福祉部会
講 師：増沢 高（子どもの虹情報研修センター）
話題提供：中川 多喜（枚方市保健センター）
話題提供：中沼 早苗（門真市立こども発達支援センター）
司 会：八木 安理子（枚方市子ども総合相談センター）

《C分科会》 学校臨床の基礎知識－医療編 ～児童思春期とその親世代の精神医療の現在～

最近の児童思春期の長期不登校の中には、親への継続的な面接も家庭訪問も難しく、学校からの指導が困難なケースが見られます。その背景に①子どもに心身症を含む精神疾患や発達障がいがある、②保護者の精神疾患によって、生活が乱れ、子どもに影響している、③その両方の影響が兄弟姉妹にも出ているなど、子どもや家族が何らかの精神疾患、障がいを抱えている場合があります。学校臨床において、最新の医療情報や知識は、クライアントを見立て、学校へ適切な理解を促すためにも必要不可欠です。この研修では、学校臨床に必要な薬物療法を含む精神医療の現在を学び、学校現場に役立てたいと思います。

企 画：教育部会
講 師：宮脇 大（大阪市立大学大学院 医師）
司 会：長澤 泉（大阪府スクールカウンセラー）

《D分科会》 カウンセリングに活かす交流分析（TA）～TA理論の紹介とその応用～

フロイドの精神分析理論をベースとした交流分析（TA）は創始者のエリック・バーンの没後、分析の対象を「行動・交流」に広げた実践的心理学です。TA理論に沿って学習し、「人は成長し、求める方向に変化する可能性」があることを体験してみませんか？自己理解・他者理解のみなら

ず、面接場面に TA 理論を活用したい方のご参加をお待ちしています。講師に日本交流分析学会認定研修スーパーヴァイザーの福間笙子さんをお迎えし、今回は①自我状態の分析（自分の中の「3つの私」）②エゴグラムの作成とその解読、事例の紹介③ストローク理論について講義をしていただきます。

企 画：私設相談部会
講 師：福間 笙子（元(公財)関西カウンセリングセンター）
司 会：吉田 瑞子（Y's カウンセリングビュロー〈ロゼット〉）

《E分科会》 基礎から学ぶ応用行動分析

行動分析学は、行動や心の動きを環境との相互作用という点から分析し、個人の行動や心の働きが生じる原因を明らかにすることを目的とする学問です。これを臨床的に応用したものが応用行動分析です。応用行動分析は、発達障害児(者)の援助技法としてよく知られています。しかし、そのみならず、精神病、神経症のクライアントの不応行動の改善、認知症高齢者の BPSD(行動心理症状)の低減、嗜癖問題に対する介入など様々な臨床場面で効果を発揮する技法です。今回は、応用行動分析のトップランナーとして活躍されている谷晋二先生をお招きし、応用行動分析を基礎から学びたいと思います。

企 画：医療保健部会
講 師：谷 晋二（立命館大学）
司 会：代田 沙緒里（関西大学心理相談室）

《F分科会》 PFA(Psychological First Aid)研修

PFA とは、災害被災者や犯罪被害者に関わる際に、支援者が身につけておくべき心構えと対応をまとめたものです。国立精神・神経医療研究センターが WHO 版 PFA を翻訳し、広く研修活動を行っています。臨床心理士は心の専門家ですが、本研修が危機介入の際に、被災者や被害者とのようにコミュニケーションをとるのかについて改めて考え体験する機会となればと考えております。講師には、PFA 指導者であられる東京大学大学院の宮本有紀先生をお招きしました。

企 画：医療保健部会
講 師：宮本 有紀（東京大学大学院 看護師）
司 会：吉川 征延（阪南病院）

《G分科会》 知っていますか？ 障害者雇用促進法が改正されていますよ

障害者雇用促進法が改正され、2018年4月より障害者の法定雇用率の算定対象に精神障害者が加わりました。企業には精神障害者を人的資源として活用する方法や仕組みづくりが求められています。臨床心理士はそれに対し、問題が生じた後の個別支援という枠組みから抜け出し、どのような貢献ができるのでしょうか。今回の研修では、企業の人事部門において障害者労務を担当しておられる境浩史先生と、人材マネジメントの研究をされている小川悦史先生をお招きします。それぞれのお立場から情報提供をいただき、障害者雇用について理解を深め、臨床心理士の貢献可能性について模索します。

企 画：産業部会
講 師：境 浩史（島津製作所）
講 師：小川 悦史（大阪経済大学）
司 会：高原 龍二（大阪経済大学）

5. 諸手続き：参加希望の方は、同封の郵便振替払込用紙にて、諸費用を納入してください。

費用

★参加費	会員	予約参加：5月18日締切	3,000円
		※5月19日以降の振込(当日参加扱い) 当日参加	4,000円
	非会員	(他府県臨床心理士会会員)	5,000円
★交流会費	会場：大阪国際会議場5階“まいどおおきに食堂”		3,000円

■ 参加申込については、以下の点にご注意くださいますようお願い申し上げます ■

- ① 参加申込の締め切りは、**5月18日(金)**です。5月19日以降の振込は当日参加扱いになりますので4,000円を納入下さい。振込不足金が生じた場合は、不足分を当日お支払いください。
- ② 同封の振込用紙に参加希望分科会をご記入下さい。未記入の場合、参加希望人数によっては、こちらから指定の分科会に参加していただく場合があります。
- ③ 「払込金受領証」を領収証とします。特に別途必要な方は、総会当日にお申し出下さい。
- ④ 6月上旬に「参加証」をお送りしますので、当日忘れずにご持参ください。ネームホルダーは当日お貸しします。
- ⑤ 遅刻・早退の場合は、日本臨床心理士資格認定協会の研修ポイントが認められません。ご了承ください。〔30分以内を限度 / ※研修参加は2ポイント取得：領域②〕
- ⑥ 当日参加の場合は、「臨床心理士登録証明書(IDカード)」をご持参下さい。本人確認と臨床心理士番号が必要になります。なお、分科会については定員に達している時は、ご希望に添えないことがございます。
- ⑦ 一度納入された費用は返金できません。ご了承ください。

6. 託児サービスのご案内

小さなお子様のいる方でも当日、安心してゆっくりご参加いただけるよう、託児サービスをご用意しております。

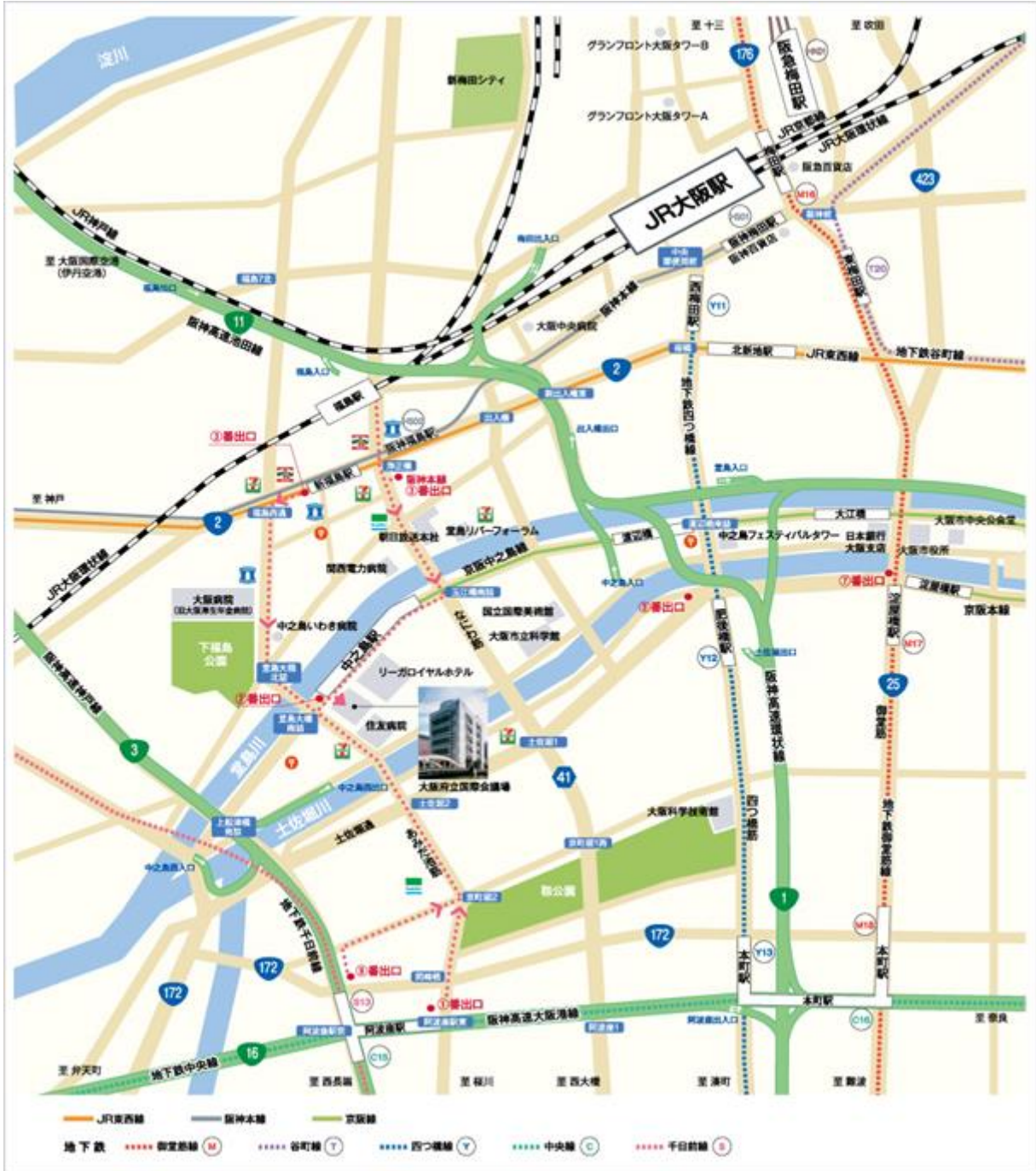
利用可能時間	午前9時から午後5時30分まで
対象年齢	1歳以上6歳まで(未就学児に限ります)
定員	15名(先着順)
託児場所	大阪国際会議場内(申し込まれた方に後日お伝えします)
利用料金	2,000円(他府県会員も同じ)
利用方法	予約制
託児形態	託児サービスは株式会社ポピンズに委託して実施します。
利用申込・お問い合わせ	同封の案内チラシをご確認いただき、利用申込書に必要事項をご記入のうえ、株式会社ポピンズまでFAXにてお申し込みください。 株式会社ポピンズ大阪支社 チャイルドケアサービス部 担当：竹内・平尾 電話 06-6367-2100 FAX 06-6367-2105

その他

保育に配慮が必要な場合は、ご予約時にお申し出ください。
詳細は同封の案内チラシを御覧ください。

7. 会場へのアクセス

- ・JR、阪神「福島駅」から徒歩 15 分。
- ・京阪中之島線「中之島駅」から徒歩 5 分。
- ・JR「大阪駅」駅前バスターミナルから 大阪市営バス 53 系統 船津橋行き、または幹 55 系統 鶴町四行き、約 15 分「堂島大橋」下車。



■お問い合わせは、大阪府臨床心理士会事務局まで Fax かメールでお願いします。10 日以内に返答がない場合、Fax あるいはメールが本会へ届いていない可能性があります。再度お問い合わせ下さいませようお願い致します。

大阪府臨床心理士会事務局

Mail : osakacp@osccp.jp

Fax : 06-6942-5110

Home page : <http://www.osccp.jp/>